

12月定例議会

行政報告（1）

平成21年12月定例議会は、11月30日に開会、12月11日までの会期で開かれました。議会初日には、施政方針と上程された各議案の大概質疑、また12月3日、4日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、11日の最終日に採決が行われました。12月定例議会の行政報告についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

定額給付金給付事業は、4月6日から10月6日まで申請受付を行い、10月末をもって給付を完了しています。給付対象世帯1万4832世帯に対し、1万4782世帯、6億1112万8千円を給付しており、給付率は99.7％です。

平成21年度職員採用試験は、1次・2次試験が行われ、上級一般行政事務3人、初級一般行政事務1人、初級消防吏員3人の合格者を、11月10日付で告示しています。

■総合政策課

国の平成20年度補正予算による「地域活性化・生活対策臨時交付金」関連予算は、繰越事業として執行しており、これまで約5億8600万円の事業が発注され、全体事業費に対する発注率は83.2％です。



▲秋田大学と幅広い分野で相互に協力していくことを確認した連携協定締結式

北秋田市と国立大学法人秋田大学との連携に関する協定が10月6日締結され、幅広い分野で相互に協力し地域社会の発展に寄与することを目的に、①豊富な地域資源を活用した産業振興②地域を支える人材育成③地域住民の健康増進等に取り組むこととしています。

木質バイオエタノール製造実証プラントには、11月20日現在で43件696人が視察に訪れています。

行革推進は、10月1日に庁内職員による業務改善推進チームを立ち上げ、庁内の行財政改革の推進と機運を高めるとともに、ムダを無くし業務を円滑に行うための改善策の策定と検討を行うこととしています。

■内陸線再生支援室

公共交通活性化・再生総合事業による、臨時列車「錦秋号」が実証運行されました。これは紅葉時期の繁忙期の列車増発による内陸線の利便性向上を目的とし、乗客数、収支などを検証し本格運行時のデータに資するものです。

また、秋田内陸線の利活用促進事業として、内陸線ホームページのリニューアルやテレビ、ラジオによるコマーシャル放送、鷹巣駅、阿仁合駅の大型看板設置、内陸線応援キャラクター「ないりっくん」のきぐるみ製作などを実施しました。

財務部関係

■財政課

平成21年8月14日～10月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は50件、契約額は10億9304万2千円です。

市民生活部関係

■総合窓口課

平成21年10月末日現在の住民登録

者数は、3万7875人で、その内訳は、男1万7832人、女2万443人、世帯数は1万4613世帯です。

一般旅券（バスポート）の申請・交付事務は、これまで県北秋田地域振興局旅券窓口で取扱っていましたが、10月1日より市役所本庁舎・総合窓口課市民班窓口で受付等を開始しています。申請受理件数は10月末現在で45件で、うちバスポート交付件数は21件です。

■生活課

「秋の全国交通安全運動」は、9月21日に北秋田警察署駐車場と森吉庁舎前駐車場を会場に、北秋田警察署を始め交通安全協会、交通安全母の会などと合同出発式及び総決起集会を実施しています。

秋の狂犬病予防接種は、10月から1ヶ月間にわたり261頭に実施しています。

長下処分施設の調整池改修工事が、完成し、ゴミの搬入を再開しています。今後は、法令及び関係集落との協定を遵守し、適正な運用、環境維持に努めます。

地域環境美化活動の取組みは、秋の一斉クリーンアップを10月4日の早朝に実施し、市民5820人程の参加を得て、ポイ捨てごみ等の回収や公共広場の清掃を行っています。

健康福祉部関係

■福祉課

第1回北秋田市障害者自立支援協議会を開催し、各事業者から事業内容の紹介や地域移行の講演等により、障害者行政の理解を深めました。

子育て応援特別手当は、対象世帯335世帯へ交付を完了しています。児童手当は、10月定期支給を対象者1524人に支給しています。

年長5歳児を対象とした保育園のフッ素洗口事業は、保護者説明会を行い、私立3園、公立8園で虫歯予防のフッ素洗口を行っています。



▲親子でフッ素洗口の仕方を確認（鷹巣東保育園）

へき地浦田保育園は、自治会長・保護者会と今後の閉園に向けた話し合いを行い理解が深められています。北秋田市コウノトリ委員会は、ハートフル倶楽部委員会に名称を変更し、

12月5日に大館能代空港ターミナルビルを会場に、男女の出会いの集い「恋の空騒ぎ2009」を開催し、交流を深めることとしています。

■高齢福祉課

敬老式は、9月に各地区10ヶ所で開催し、対象者7809人のうち、参加者は2729人となり、昨年度の参加より95人の減少です。

高齢者障害者等外出支援サービスは、利用範囲を拡大したところですが、通院以外の利用者の申請が数名みられ、「常に介護が必要な方」という申請も7件ほど増えています。

ひまわりの家の利用者は、入浴・各種会議等で1ヶ月約3300人の利用です。

■地域包括支援センター

対人援助相談業務全般の延べ件数は、9月末現在1625件です。その内、総合相談・権利擁護に関わる相談業務やケアマネジメント支援業務は469件です。

地域支援事業の介護予防事業（特定高齢者）の参加者は、通所型事業63人、訪問型事業8人です。更に介護予防意識を広げる為に、地域に出向き介護予防教室を開催しています。要支援1・要支援2の認定者を対象とした介護予防支援事業には、月平均345人がサービスを利用しています。

■医療推進課

市民病院の開院は、10月オープン予定でしたが医療情報システムの導入が遅れたことから、4月に開院を延期しています。なお、開院延期については、8月22日、23日の両日、4地区で住民説明会を開催しています。

市民病院の指定管理に係る基本協定は、10月1日、秋田県厚生農業協同組合連合会と市で締結しています。

■健康推進課

肺炎球菌ワクチン予防接種は、10月末現在で154人、MRワクチン予防接種は、5歳が76.9％、中学1年生が80.7％、高校3年生が70.3％の接種率です。

市民の健康づくり事業のウォーキングは、4地区で開催し、延べ参加者は632人で、その中で全てに参加した完歩者は99人です。また、健康・スポーツフェスタ2009が合川体育館を主会場に開催され、約3000人の市民が参加しました。

母子保健事業は、食育推進事業の体験学習型の食育探健隊を6回開催し、103人が参加しました。

フッ素洗口事業は、8月27日より保育園児保護者説明会をスタートし、9施設で開始しています。ほぼ100％の実施です。

献血実施状況は、10月末現在で成分献血53人、全血献血587人です。



▲新型インフルエンザワクチン優先対象者への集団接種

新型インフルエンザ対策は、全国的に感染段階が蔓延期に入り、受診体制を9月1日から市内の登録医療機関を通じて実施しています。集団感染防止と優先接種対象者及びこれまでの入院発生率、重症患者発生率を考慮し、ワクチン接種費用に係る減免措置（生保世帯、住民税非課税世帯）のほか、妊婦と1歳から中学校3年生へ単独助成を実施しています。

■国民健康保険合川診療所

上半期の運営状況は、診療日数137日、外来患者数6878人、1日平均50.2人、前年同期比で293人の減少です。診療収入は7296万2千円で、前年同期比438万6千円の減収です。